

〈音楽科〉 3年

現在の分析

〈音楽への関心・意欲・態度〉

- ・音楽の授業を楽しみにしている児童が多く、新しい歌や曲に対して積極的に取り組もうとする姿勢が見られる。
- ・リコーダーに興味をもち、進んで練習に取り組む児童が多い。

〈音楽表現の創意工夫〉

- ・低学年で培った感性を生かし、曲の特徴を感じ取って演奏したり身体表現をしたりすることができる。

〈音楽表現の技能〉

- ・明るく口を大きく開けて元気に歌っており、呼吸及び発音の仕方に気を付けようと意識して取り組んでいる。
- ・リコーダーの音に親しみ、基本の息の使い方や正しいタンギングを大事にして意識的に取り組んでいる。

〈鑑賞の能力〉

- ・人の声による表現に関心をもち、その特徴を感じ取って聴いている。

重点課題

〈音楽への関心・意欲・態度〉

- ・進んで音楽活動をする学び方を身に付け、音楽活動の楽しさを感じ取って、学習への意欲を高めるようにすること。

〈音楽表現の創意工夫〉

- ・一つ一つの言葉の意味するところや歌詞の全体の内容を十分に感じ取って、歌うようにすること。
- ・リズムや音程に注意しながら、聴唱や聴奏をすることを継続し、さらに旋律の表現を豊かにするよう指導していくこと。

〈音楽表現の技能〉

- ・音楽の流れを体全体で受け止め、生き生きと演奏したり身体表現をしたりする活動を工夫すること。
- ・リコーダーの基本的な奏法を身に付けること。

〈鑑賞の能力〉

- ・進んで様々な音楽を聴こうとする意欲や態度を身に付け、楽曲の良さや美しさを感じ取る能力を伸ばしていくこと。

授業改善策

〈音楽への関心・意欲・態度〉

- ・魅力ある教材の選択と学習指導を工夫することによって、生き生きと音楽活動に取り組み、思ったことや感じたことを工夫し表現できるようにする。その過程で愛唱歌や愛好歌を増やしていくようにする。

〈音楽表現の創意工夫〉

- ・言葉の意味を理解したり、歌詞のもつリズムや言葉の抑揚に気を付けたりしながら、気持ちをこめて歌えるようにする。
- ・階名視唱や階名視奏を重ねながら、旋律の音の動きを意識させて、旋律の流れの中で拍感やフレーズ感を感じ取って演奏したり身体表現をしたりする。

〈音楽表現の技能〉

- ・呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌い、リズム活動などを通して豊かに音楽を表現して楽しむことができるようにする。
- ・リコーダーの練習曲ではハ長調の階名視唱を繰り返しながら、タンギングを身に付け簡単な曲を演奏できるようにする。

〈鑑賞の能力〉

- ・音楽に合わせて口ずさんだり、身体表現を通して音楽の流れを感じ取ったり、様々な楽器の音色や声の特徴を感じ取りながら音楽を聴く楽しさを味わうようにする。